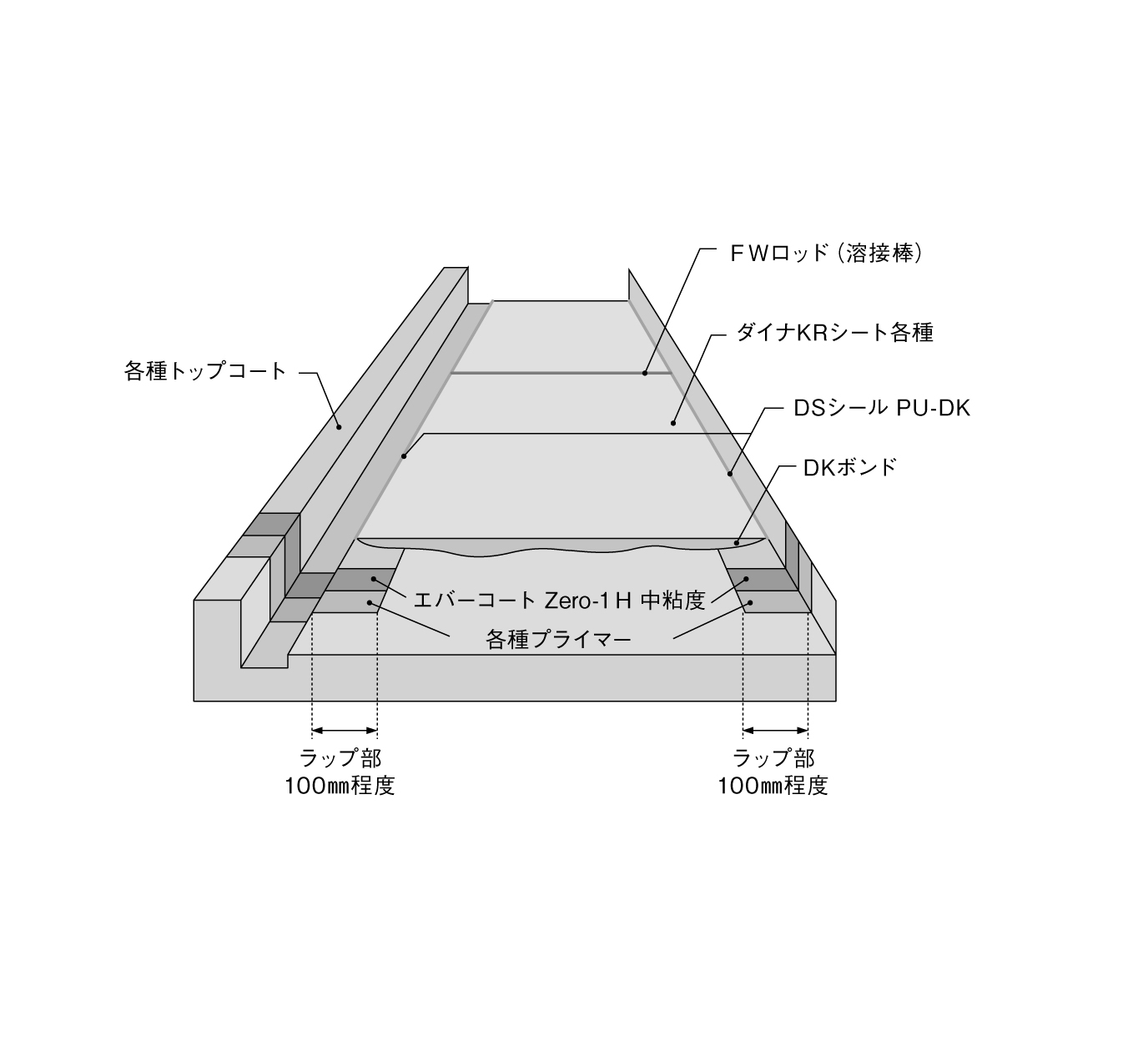
ＺＨＳＨ－１５０工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**



平場：長尺塩ビ防滑シート仕様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | ＤＫボンド | ０.４㎏ |
| ２ | ダイナＫＲシートＳ | － |
| ３ | 溶接棒・端末シール処理 | － |

側溝・巾木：ＺＨＳＨ－１５０工法（密着工法　平均厚１.５㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | ＤＳプライマー・エコ | ０.１５㎏～ |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度 | ２.０㎏※ |
| ４ | ＤＳトップ・ゼロ | ０.２㎏ |

　　※ダイナＫＲシートＳとのラップ部は１.３㎏／㎡となります。

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| ＤＳプライマー・エコ | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂プライマー（弱溶剤系） |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１ Ｈ中粘度 | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材  中粘度 |
| ＤＳトップ・ゼロ | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（弱溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |
| ＤＫボンド | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂接着剤（溶剤系） |
| ダイナＫＲシートＳ | １０m／巻  幅＝１，８２０㎜／  １，３５０㎜／  １，２５０㎜  ｔ＝２.５㎜ | － | 防滑性ビニル床シート |
| ＤＳシールＰＵ－ＤＫ | （３２０mｌ／本）  ２本／箱  ４本／箱 | － | １成分形ウレタン樹脂端部処理剤 |
| ＦＷロッド | ５０m／巻 | － | 軟質塩化ビニル樹脂床溶接棒 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：長尺塩ビ防滑シート仕様 | 側溝・巾木：ＺＨＳＨ－１５０工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
|  | ＤＳプライマー・エコ塗布 |
|  |  |
|  | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ  中粘度塗布 |
|  |  |
|  | ＤＳトップ・ゼロ塗布 |
|  |  |
| ダイナＫＲシートＳ　割付け、仮敷き |  |
|  |  |
| ＤＫボンド塗布 |  |
|  |  |
| ダイナＫＲシートＳ張り  壁際裁断、転圧  シートジョイント処理  シート端末処理 |  |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | ダイナＫＲシートＳ　施工部位の割付け |
| 下地処理確認後、できるだけ継ぎ目部を少なく、端部に短いシートが入らないように割付ける。  端部は、端部処理材の仕上げシロとして、排水溝端部から５㎜以上、壁際は３㎜程度の隙間を空ける。  ＤＫボンドを端部まで塗布するため、シート端部の位置を下地に鉛筆等でけがく。 |
| ２ | ダイナＫＲシートＳ　仮敷き |
| ダイナＫＲシートＳの張付け基準線に沿って、同方向に仮敷きを行い、巻グセを除去し、シワが生じないように敷き延ばす。  シートの柄合わせを行い、２枚目のシートの継ぎ目は突き付けで隙間を空けずに張る。  継ぎ目はシート表面柄模様の目地部で設ける。 |
| ３ | ＤＫボンド塗布 |
| ダイナＫＲシートＳを短手方向にずれないように半分に折り曲げ、ＤＫボンドを接着材塗布工具のクシ目ゴテ等で０．４㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４ | ダイナＫＲシートＳ張付け |
| ＤＫボンドの指蝕乾燥（表面に薄く皮張り程度）後、ダイナＫＲシートＳにシワを生じないように、中央部からシートを張り込んでいく。張付け後、しごき圧着で空気抜きを十分に行った後、床ローラーで全面を均一に転圧する。 |
| ５ | ダイナＫＲシートＳ　壁際裁断、転圧 |
| 防水層を傷付けないようにカッターナイフ等でダイナＫＲシートＳを裁断し、壁際は３㎜程度の隙間を設ける。壁際および継ぎ目部をハンドローラーやコーナーローラーで全面を均一に転圧する。 |
| ６ | ダイナＫＲシートＳ　シートジョイント、端末処理 |
| ダイナＫＲシートＳのジョイント部は、溶接工法の場合は溶接棒であるＦＷロッドを使用し、熱風溶接機を用いて処理する。シール工法の場合はＤＳシールＰＵ－ＤＫを用いて処理する。  端末処理は、シール工法にてＤＳシールＰＵ－ＤＫを用いて行う。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ７ | 養生 |
| 施工終了後、通常１～２日以上養生するが、端末処理部が硬化する２～３日経過後に歩行可能とする。 |

**側溝・巾木**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | ＤＳプライマー・エコ塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、ＤＳプライマー・エコをローラー等の工具で０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ２ | エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度塗布 |
| エバーコート Ｚｅｒｏ－１ Ｈ 中粘度を、コテ・ゴムベラ等の工具で２．０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | ＤＳトップ・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳトップ・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |